

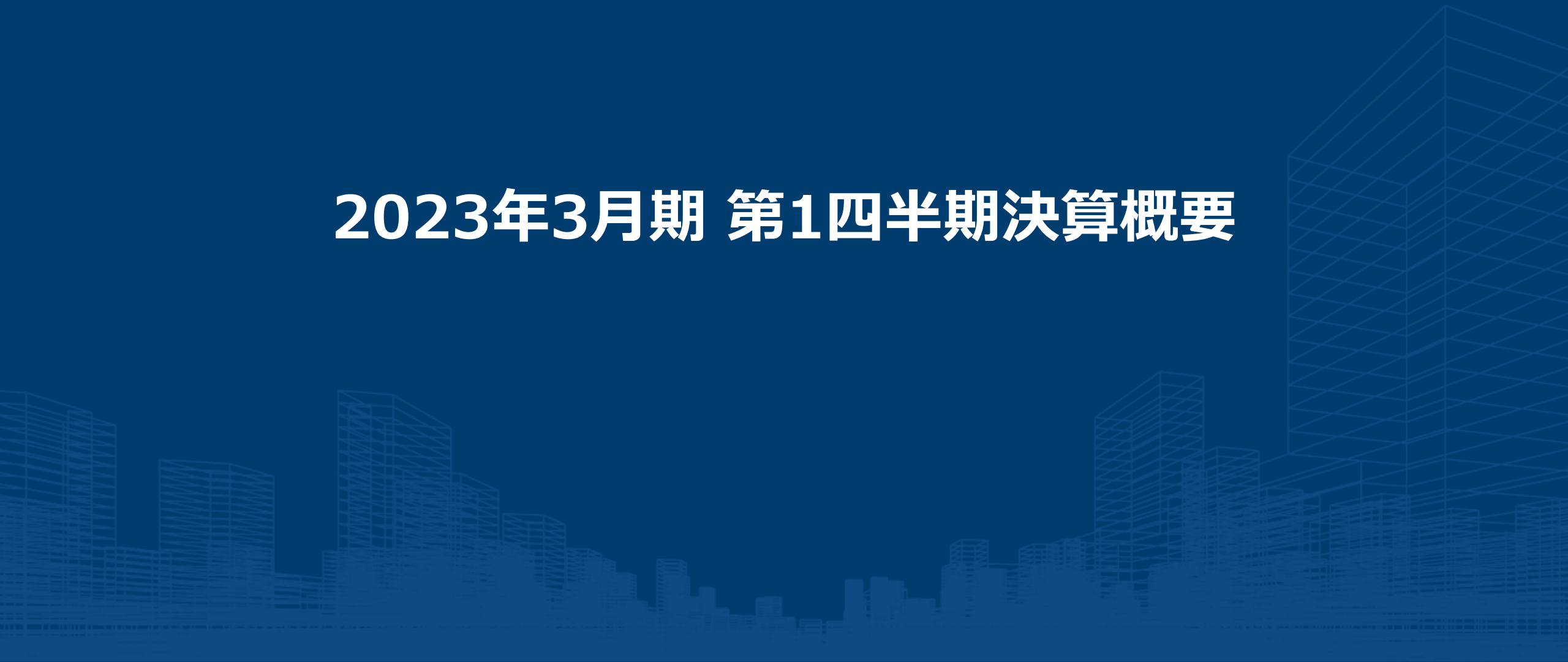


株式会社ラック

2023年3月期 第1四半期決算説明資料

2022年8月10日

2023年3月期 第1四半期決算概要



売上高はセキュリティ事業、SI事業の伸長により増収
営業利益、経常利益は改善
四半期純利益は前年同期に特別利益の計上があり減益

（百万円）

科目	'22年3月期 1Q累計実績	'23年3月期 1Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	9,913	10,168	+254	+2.6
営業利益	△226	△123	+102	-
営業利益率%	△2.3	△1.2	+1.1p	-
経常利益	△208	△132	+75	-
経常利益率%	△2.1	△1.3	+0.8p	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	△19	△149	△130	-

- （注）1. 2022年3月期 第1四半期累計期間に子会社株式売却益219百万円を特別利益として計上しています。
2. 当社グループの事業の特徴として、特にセキュリティ事業の売上の計上が第4四半期連結会計期間に著しく偏り、第1四半期累計期間の業績は低い水準となる傾向があります。

セキュリティ事業は増収・減益、SI事業は増収・増益 全社共通費用は体制強化等により増加

（百万円）

売上高	'22年3月期 1Q累計実績	'23年3月期 1Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	4,425	4,498	+73	+1.7
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	5,488	5,669	+181	+3.3
合計	9,913	10,168	+254	+2.6

セグメント利益	'22年3月期 1Q累計実績	'23年3月期 1Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	208	201	△6	△3.0
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	507	731	+223	+44.0
合計	715	933	+217	+30.4

全社共通費用	△942	△1,057	△114	-
--------	------	--------	------	---

（注）セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の、事業にかかる販売費および管理費を含めた利益です。

製品販売が拡大し増収、サービス関連が振るわず減益

セキュリティコンサルティングサービス

企業へのサイバー脅威が衰えを見せることなく猛威を振るうなか、緊急対応サービスや教育・訓練サービスが伸長

セキュリティ診断サービス

主力のWebアプリケーション診断サービスやプラットフォーム診断サービスは堅調に推移したものの、IoTセキュリティ診断サービス等が落ち込み減少

セキュリティ運用監視サービス

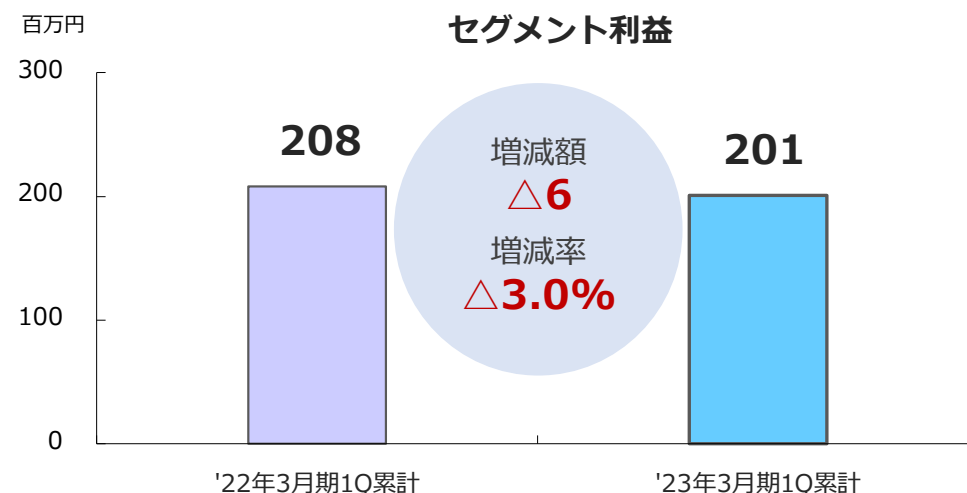
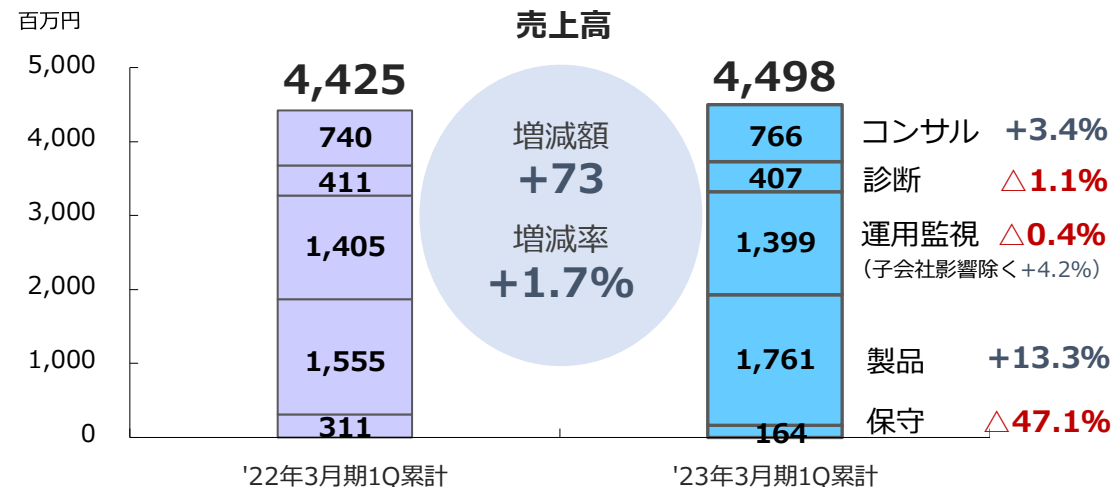
特定企業向けに高度な対策を行う個別監視サービスや内部不正監視サービスが伸長したものの、子会社の株式会社ラックサイバーリンクにおいて、前期に実施した人材派遣ビジネスの戦略的縮小に伴う売上減影響により減少

セキュリティ製品販売

サービス妨害型攻撃にも対応したWebセキュリティ対策向けクラウド対応製品や、様々な機器からデータを収集し分析するログ管理製品などが拡大

セキュリティ保守サービス

クラウド対応製品の拡大に伴い既存案件が減少



開発サービスが好調に推移したことなどにより増収・増益

開発サービス

前期にあった大型案件終息などの影響もなく、大手銀行やクレジットカードなどの金融業向け案件に加え、情報サービス業向け案件が大幅に伸長

HW/SW（ハードウェア・ソフトウェア）販売

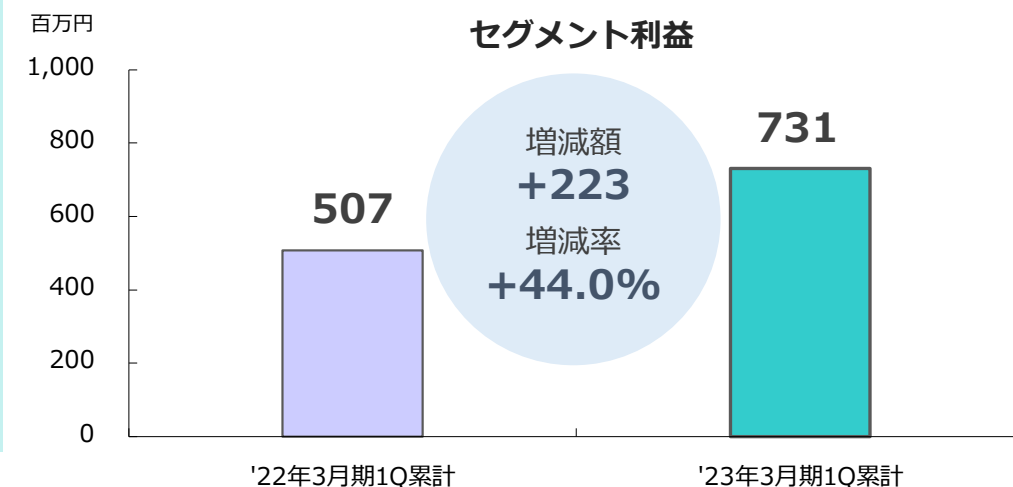
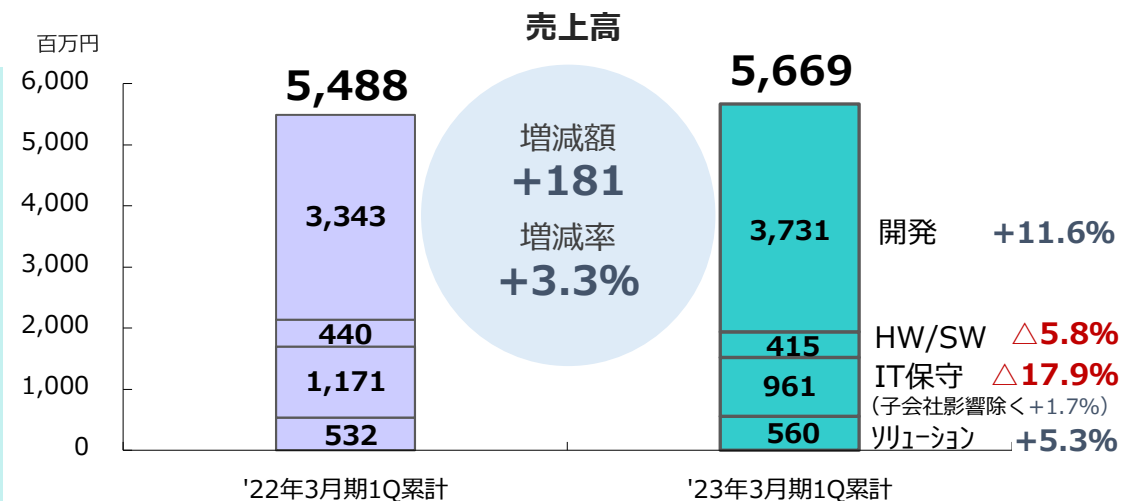
クラウドサービスの拡大等で需要が縮小したことで更新案件等が減少

IT保守サービス

更新案件は堅調に推移したものの、子会社であったアイ・ネット・リリー・コーポレーション株式会社の事業譲渡に伴う売上減影響で減少

ソリューションサービス

サイバーセキュリティ対策にも寄与するソリューション製品関連の販売が伸長



持続的な成長投資を可能とする強固な財務基盤を引き続き維持

（百万円）

科目	‘22年3月期末	‘23年3月期 1Q末	前期末比 増減
資産合計	25,306	23,450	△1,856
流動資産	17,873	15,461	△2,411
固定資産	7,433	7,988	+555
負債合計	9,537	8,221	△1,316
流動負債	7,957	7,291	△666
固定負債	1,579	929	△650
純資産合計	15,769	15,229	△540
現預金	9,785	8,633	△1,151
有利子負債	2,746	2,074	△671
自己資本比率	62.3%	64.9%	+2.6p

増減ポイント

資産

【流動資産】

現金及び預金の減少	△1,151
受取手形、売掛金及び契約資産の減少	△1,475

【固定資産】

投資その他の資産「その他」に含まれる投資有価証券の増加	+557
-----------------------------	------

負債

【流動負債】

買掛金の減少	△699
--------	------

【固定負債】

長期借入金の減少	△666
----------	------

純資産

【純資産】

利益剰余金の減少	△547
----------	------

2023年3月期 連結業績予想

(2022年5月13日発表から変更ありません)

ランサム攻撃や内部不正などへのサイバーセキュリティ対策需要や システム開発への投資拡大を背景に、大幅な増収増益を予想

（百万円）

科目	'22年3月期 通期実績	'23年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	42,660	50,000	+7,339	+17.2
営業利益	1,595	2,100	+504	+31.6
営業利益率%	3.7	4.2	+0.5p	-
経常利益	1,769	2,100	+330	+18.7
経常利益率%	4.1	4.2	+0.1p	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1,401	1,410	+8	+0.6
自己資本当期純利益率(ROE)%	10.2	8.8	△1.4p	-

セキュリティ事業、SI事業とも大幅な増収増益を予想 社内IT投資、組織体制の強化などにより全社共通費用は増加を予想

（百万円）

売上高	'22年3月期 通期実績	'23年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	19,380	24,000	+4,619	+23.8
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	23,279	26,000	+2,720	+11.7
合計	42,660	50,000	+7,339	+17.2

セグメント利益	'22年3月期 通期実績	'23年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	2,319	3,800	+1,480	+63.9
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	2,985	3,300	+314	+10.5
合計	5,304	7,100	+1,795	+33.8

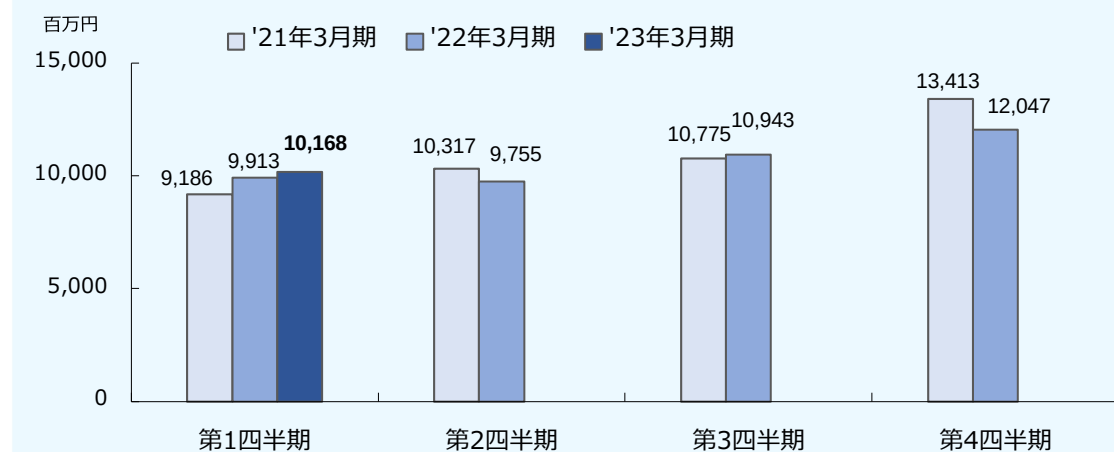
全社共通費用	△3,709	△5,000	△1,290	-
--------	--------	--------	--------	---

（注）セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の、事業にかかる販売費および管理費を含めた利益です。

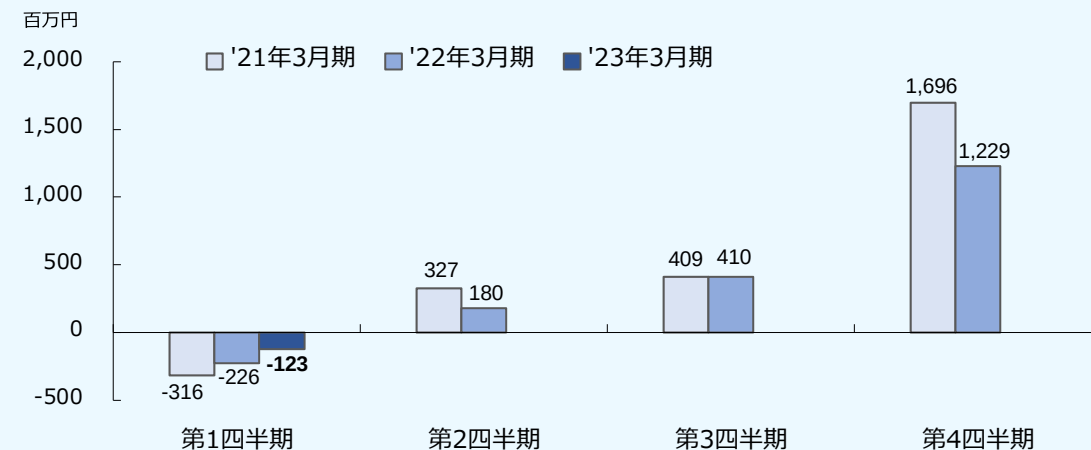
補足資料



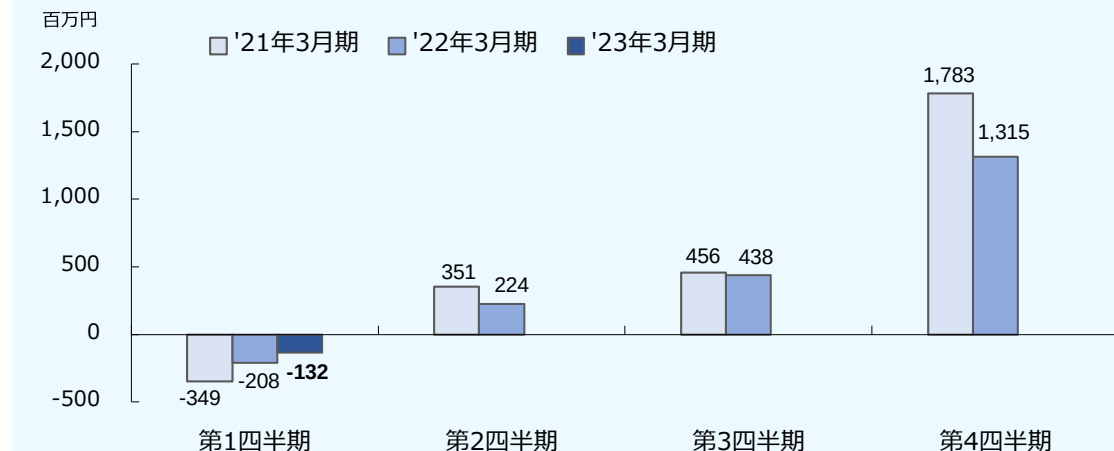
売上高



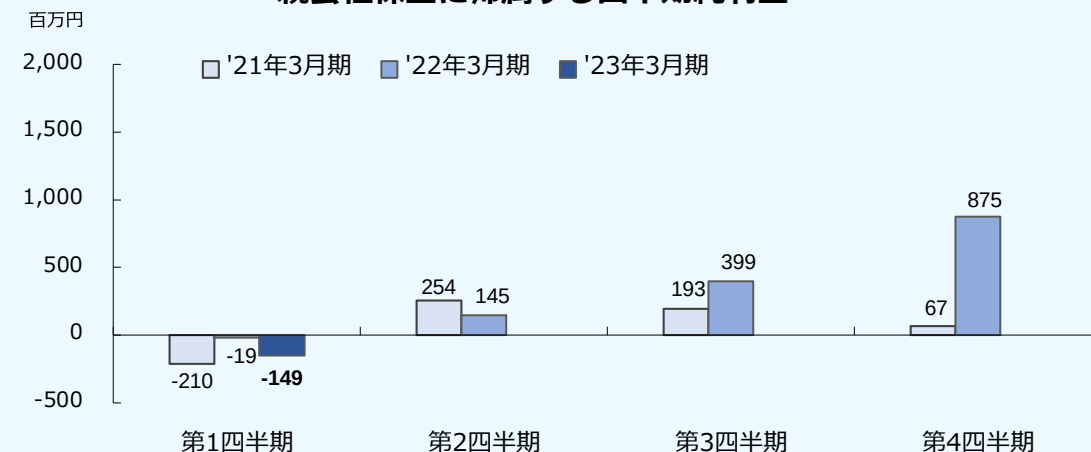
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



連結業績・セグメント別推移（四半期）

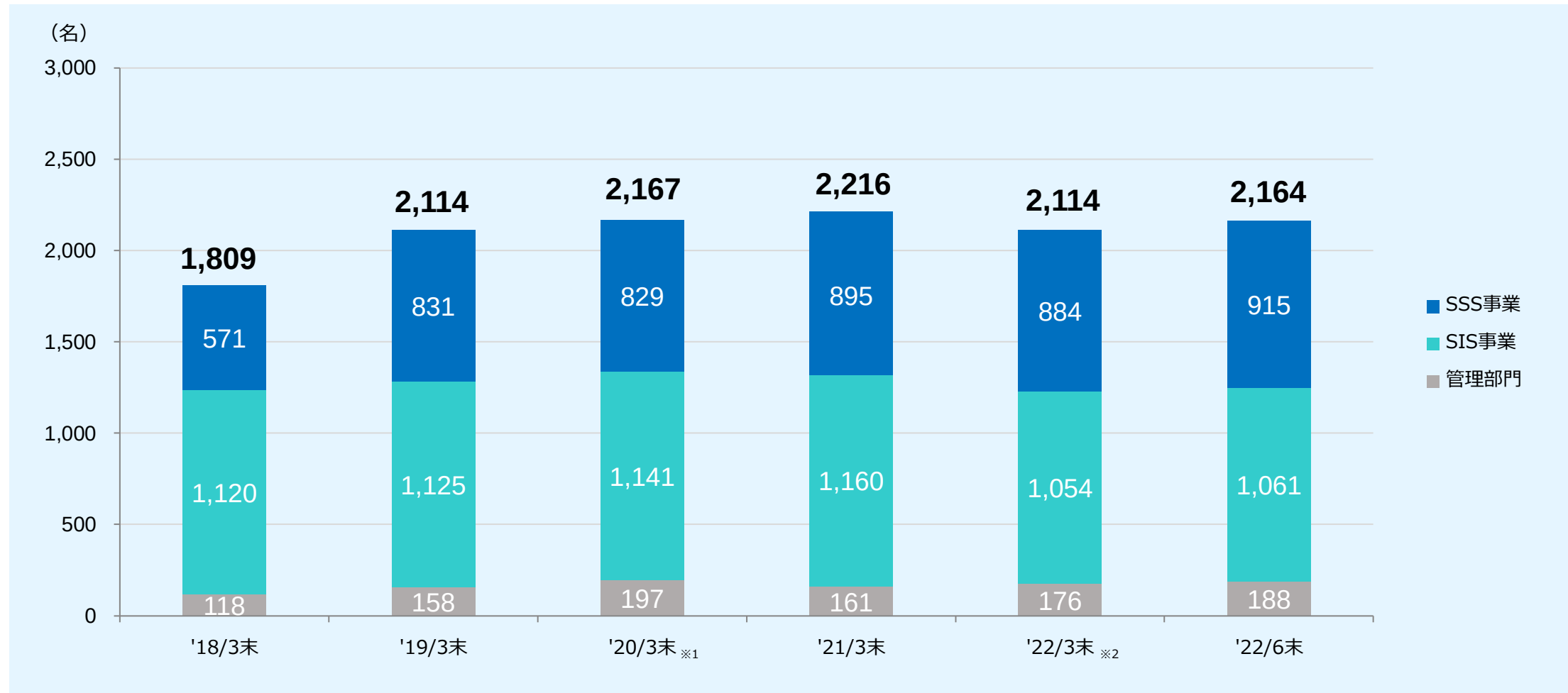
(百万円)

連結業績	'21年3月期				'22年3月期				'23年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	9,186	10,317	10,775	13,413	9,913	9,755	10,943	12,047	10,168			
売上原価	7,571	8,117	8,565	9,860	8,094	7,670	8,581	8,858	8,292			
売上原価率 (%)	82.4	78.7	79.5	73.5	81.7	78.6	78.4	73.5	81.6			
販売費及び一般管理費	1,931	1,873	1,800	1,855	2,045	1,904	1,951	1,959	1,999			
売上高販管費比率 (%)	21.0	18.2	16.7	13.8	20.6	19.5	17.8	16.3	19.7			
営業利益	△316	327	409	1,696	△226	180	410	1,229	△123			
売上高営業利益率 (%)	△3.4	3.2	3.8	12.7	△2.3	1.9	3.8	10.2	△1.2			
親会社株主に帰属する四半期純利益	△210	254	193	67	△19	145	399	875	△149			
売上高四半期純利益率 (%)	△2.3	2.5	1.8	0.5	△0.2	1.5	3.6	7.3	△1.5			

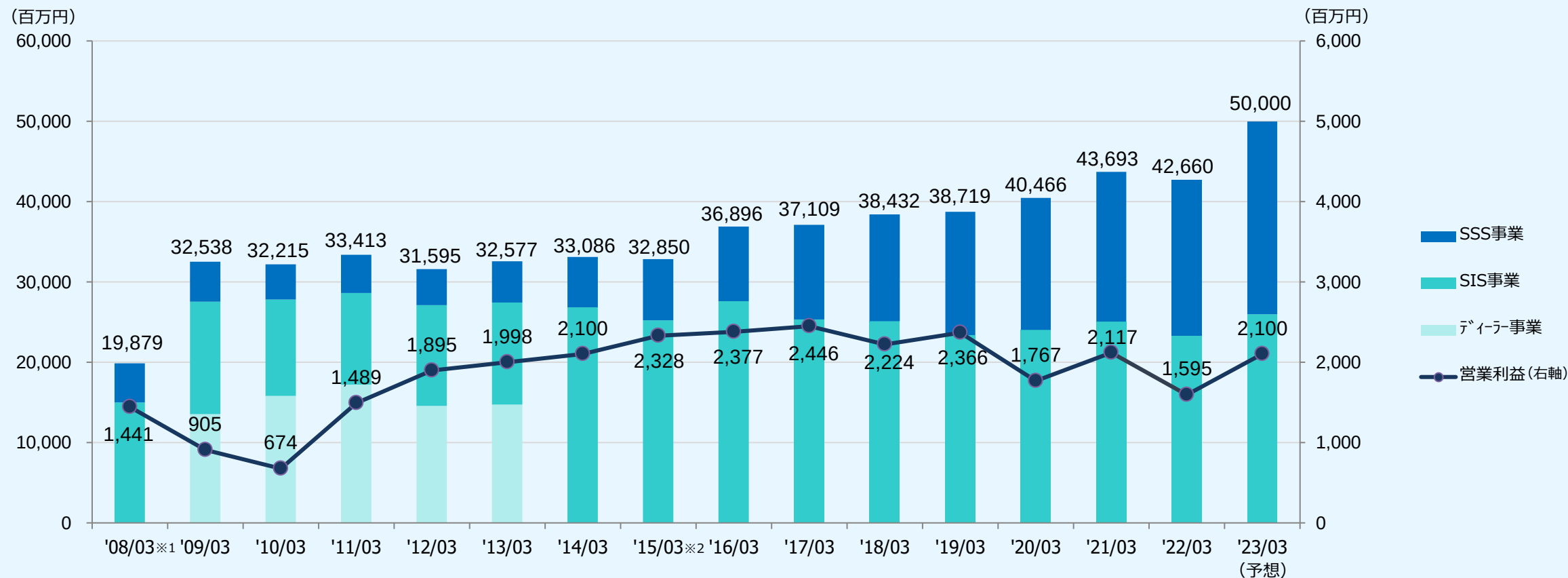
セキュリティソリューションサービス事業（SSS事業）												
売上高	セキュリティコンサルティングサービス	592	777	825	1,315	740	905	881	1,209	766		
	セキュリティ診断サービス	310	591	512	1,236	411	504	464	1,072	407		
	セキュリティ運用監視サービス	1,352	1,407	1,409	1,823	1,405	1,385	1,507	1,524	1,399		
	セキュリティ製品販売	1,120	960	1,601	1,380	1,555	1,261	1,570	1,661	1,761		
	セキュリティ保守サービス	328	225	374	511	311	194	430	381	164		
	合 計	3,704	3,963	4,724	6,267	4,425	4,251	4,854	5,849	4,498		
セグメント利益		55	436	510	1,538	208	383	542	1,185	201		

システムインテグレーションサービス事業（SIS事業）												
売上高	開発サービス	3,318	3,855	3,791	4,351	3,343	3,821	4,007	4,184	3,731		
	HW／SW販売	451	950	526	713	440	551	799	701	415		
	I T保守サービス	1,335	1,149	1,357	975	1,171	711	903	641	961		
	ソリューションサービス	376	399	376	1,105	532	419	378	671	560		
	合 計	5,482	6,354	6,051	7,145	5,488	5,503	6,089	6,198	5,669		
セグメント利益		587	808	736	1,039	507	694	778	1,005	731		

全社共通費用	△959	△918	△837	△881	△942	△896	△909	△960	△1,057			
--------	------	------	------	------	------	------	------	------	--------	--	--	--



- (注) 1. 2019年3月期以降のSSS事業における連結従業員数は、2018年4月2日に子会社化した(株)アジアリンク（現 (株)ラックサイバーリンク）の従業員が含まれています。
2. SSS事業において、第1四半期に(株)アジアリザレクションが(株)ラックサイバーリンクを存続会社として吸収合併したことによる減少影響（21年3月末比較：30名）があります。また、SIS事業において、2021年6月28日にアイ・ネット・リリー・コーポレーション(株)の全株式を売却し、連結の範囲から除外していることから、同社の従業員数(21年6月末時点：97名)が除外されています。



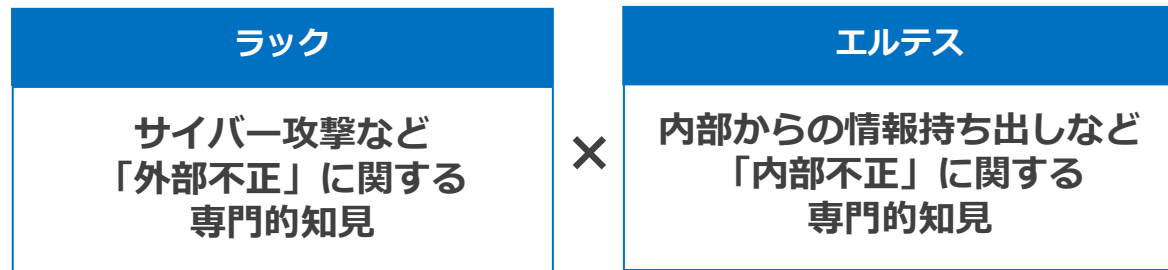
(注1) 旧ラックとA&Iの経営統合初年度である'08年3月期の業績には、旧ラックが決算期を12月から3月に変更したことから旧ラックは'07年1月1日～'08年3月31日までの15ヶ月決算を反映していますが、本資料では、同一期間で比較するため'07年1月1日から'07年3月31日までの旧ラックの個別業績（売上高2,019百万円、営業利益329百万円）を差し引き、1年換算とした場合の想定実績で記載しています。

(注2) 事業セグメントの変更は'15年3月期からですが、セグメント別の業績を比較するため、その前年度である'14年3月期も同条件で組み替えた場合の想定実績で記載しています。

事業トピックス



(株)エルテスと資本業務提携、両者が得意領域を補完することで、
多くのサイバーセキュリティ事故をカバーする強固なセキュリティ体制を提供



資本提携内容

項目	内容
出資先企業	(株)エルテス
引受株数	620,000株（普通株式）
引受金額	605百万円
出資割合（議決権所有割合）	10.25%
契約締結日	2022年4月21日
払込期日	2022年5月17日

- 運用監視サービスの事業拡大
当社のセキュリティ監視サービスとエルテスの内部不正監視を組み合わせたサービスを提供
- インシデント対応サービスの事業拡大
当社のインシデント対応サービスにおけるソーシャルリスク対策として、エルテスのソーシャルリスクマネジメントサービスを活用したインシデント対応サービスの事業拡大
- データ分析技術を活用した新ビジネスの開発
当社が保有する脅威情報とエルテスのAIを活用したデータ分析技術をもとにした新たなビジネスの創出



企業におけるセキュリティインシデント（事故につながる事態）の約7割※を占める外部不正と、同インシデントの約1割※を占める内部不正に対して対応でき、強固なセキュリティ体制を提供

（注）当社のサイバー救急センターに相談いただいたセキュリティインシデントの統計による

ラック、NRIセキュアテクノロジーズ(株)、グローバルセキュリティエクスパート(株) (GSX) が豊富な経験とナレッジを活かして、日本のサイバーセキュリティ水準の向上に貢献

当社、NRIセキュアテクノロジーズおよびGSXの3社合同で、国内企業が直面するサイバーセキュリティリスクへの対策を支援する会員制の任意団体「サイバーセキュリティイニシアティブジャパン (CSI/J)」を設立。

内閣サイバーセキュリティセンター、総務省、経済産業省などの関係省庁とも連携し、企業を会員として、「セキュリティ対策」と「セキュリティ人材」に関わるフレームワークを提供。

日本のサイバーセキュリティ水準の向上に貢献。

団体の概要

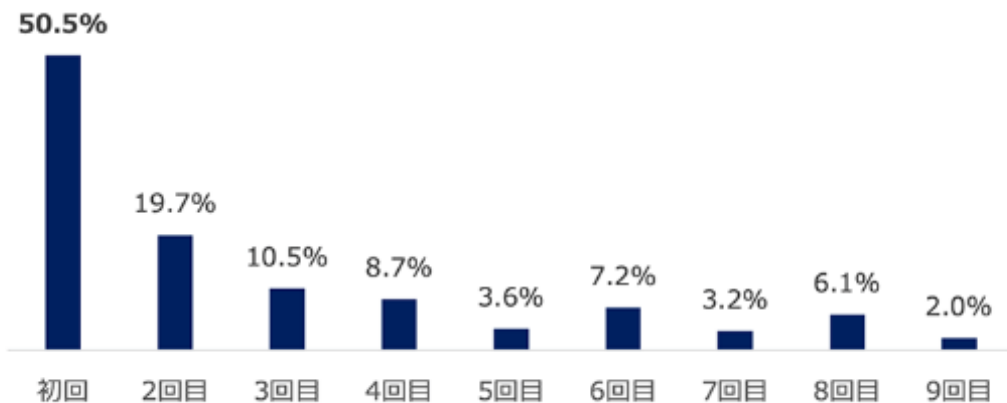
名 称	サイバーセキュリティイニシアティブジャパン
英文名称	Cyber Security Initiative for Japan
略 称	CSI/J (シーエスアイジェー)
設 立 日	2022年4月1日
会 長	中尾 康二 (国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所)
後援企業	KDDI(株)、(株)野村総合研究所
賛同企業	(株)インフォセック、(株)FFRIセキュリティ、エムオーテックス(株)、KDDIデジタルセキュリティ(株)、(株)サイバーディフェンス研究所、(株)セキュアイノベーション、(株)セキュアヴェイル、SOMPOリスクマネジメント(株)、(株)ブロードバンドセキュリティ、三井物産セキュアディレクション(株)、(株)ユービーセキュア (五十音順)

無害のウイルス付きメールの訓練をいつでも何回でも実施でき、 eラーニングとあわせて従業員のリテラシー向上を実現

身代金を要求するランサムウェア攻撃に備え、従業員のサイバー攻撃へのリテラシーを高めるため、標的型攻撃メール訓練とeラーニング研修を組み合わせた「標的型攻撃メール訓練 T3 with セキュリティ教育」サービスを開始。

低価格帯（年間契約）を実現し、サイバー攻撃のターゲットとされやすい、大企業のサプライチェーンを構成する中小企業のリテラシー向上に貢献。

組織Aの訓練継続による開封率推移



メール訓練手順

STEP1



標的型攻撃メール訓練

- ・訓練ご担当者様にて訓練メールを準備、配信いただきます
- ・メール配信回数：無制限（契約ユーザー数に基づきます）

STEP2



訓練結果ダウンロード

- ・配信システムより開封結果を確認・ダウンロードいただけます
- 訓練結果ログ（.CSV形式）
- 簡易報告書（.PDF形式）

STEP3



eラーニング

- ・訓練ご担当者様より、eラーニングのURLとパスワードを対象ユーザーにお知らせいただくことで視聴可能となります
- ・視聴回数：無制限（契約ユーザーが対象）
- ※ 定期的に新作コンテンツが追加されます

1年間、いつでも何度でも実施し放題！

デジタルの安全な利活用推進を進める「town構想」の一環として、
各種先端サービスの安心・安全を担うセキュリティプラットフォームの実証実験を推進

芝浦工業大学と地域防災を支えるデータ分析に関する共同研究を開始

芝浦工業大学と、都市や街におけるICTの実使用環境を再現した様々な試験を行う、産学連携の共同研究を開始。当社は、地域のスマートシティに関連する取り組みとして、最先端のデジタル技術を活用して防災・減災を可能にするプラットフォームの実現を推進。

気象データや街中のセンサーからの情報を統合し、地域の細かなエリアでの災害状況の把握・予測するなど、スマートシティの実現に向けて、本研究で各種データ管理・分析手法の確立を目指す。

(2022年6月発表)

(注) 当社は、新規事業開発の取り組みである「town構想」の一環として、スマートシティにおける各種先端サービスの安心・安全を担うセキュリティプラットフォームの実現を推進し、各自治体における地域活性化を目指しています。

これまで大切にしてきた想いや価値観は何か、社会から期待されていることや存在意義は何かを見つめなおし「パーパス」と「ビジョン」を策定

パーパス (Purpose)

私たちの存在意義

“たしかなテクノロジーで「信じられる社会」を築く。”

デジタル社会がより高度化・複雑化するなか、
私たちは練度の高い多様なテクノロジーを駆使して安心・安全な社会基盤を築き、
人々が互いを支え合い、笑顔でいられる社会を実現します。



互いを信じられる社会

成長を信じられる社会

未来を信じられる社会

ビジョン (Vision)

私たちが目指す姿

“デジタル社会を生き抜く指針となる。”

サイバーセキュリティをリードしてきたパイオニア精神を絶やさず、
深化・高度化するデジタル社会における人々のいとなみを守り、業界文化を牽引し、
新しい時代を生き抜く指針でありつづけます。



他社に先駆けて始めたセキュリティ対策サービスと 独立系のITベンダーとして幅広い領域のSIサービスを提供

安心・安全なサイバー空間への貢献

SSS

セキュリティソリューションサービス

24時間365日、リアルタイムで監視する国内最大級のセキュリティ監視センターを軸に、大手企業や官公庁向けに総合的なセキュリティ対策サービスを提供しています。

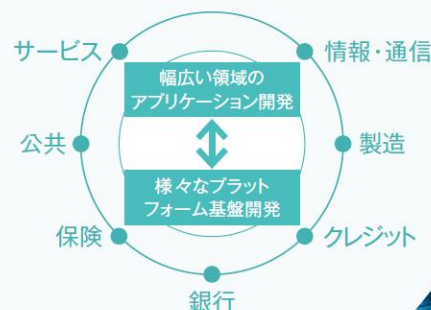


ITによる豊かな社会への貢献

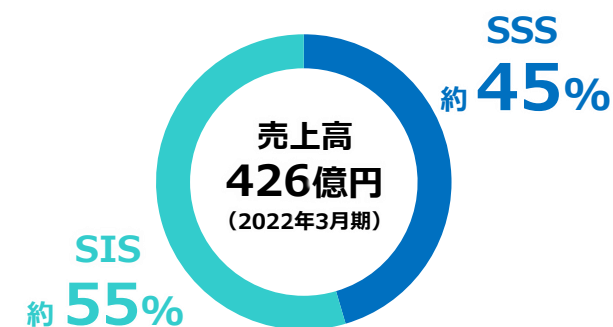
SIS

システムインテグレーションサービス

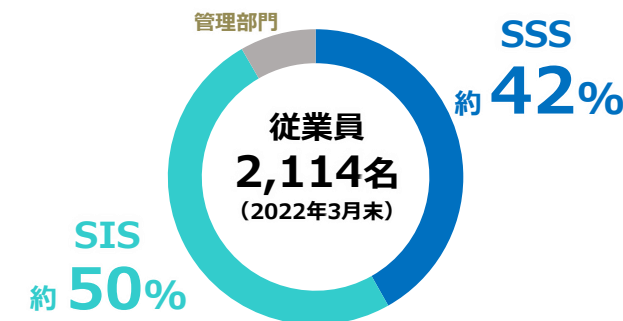
大手金融機関向け基盤システム開発のノウハウを強みに、幅広い業種のお客様へアプリケーションから基盤まで一貫したSIサービスを提供しています。



売上高構成比



人員構成比



(2022年6月30日時点)

会 社 名	株式会社ラック		
住 所	東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー		
設 立	2007年10月1日（前身となる旧ラックは1986年に設立）		
代 表 者	代表取締役社長 西本 逸郎		
資 本 金	26億4,807万5,000円		
業 績	売上高 426億円 営業利益 15億円（2022年 3 月期）		
従業員数	連結 2,164名 単体 1,678名		
拠 点	東陽町オフィス（東京都） 福岡オフィス（福岡県）	ラックテクノセンター秋葉原（東京都） ラックテクノセンター北九州（福岡県）	名古屋オフィス（愛知県） シンガポール支店（シンガポール）
関係会社	セキュリティ 株式会社ラックサイバーリンク（東京都） KDDIデジタルセキュリティ株式会社（東京都） ニューリジェンセセキュリティ株式会社（東京都） （注）KDDIデジタルセキュリティ(株)とニューリジェンセセキュリティ(株)は持分法適用関連会社		
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場 証券コード 3857		



※本資料は2022年8月10日時点の情報に基づいて作成しており、記載内容は予告なく変更される場合があります。

※この配付資料に記載されている業績目標、将来の見通しなどの記述はいずれも、当社グループが作成時点で入手可能な情報を基にした予想または想定に基づく記述であり、これらは経済情勢や社会動向等の様々な経営環境の変化によって、直接・間接に影響を受けるものであり、実際の業績、戦略などは、この配付資料に記載されている予想または想定とは大きく異なる可能性があります。

※ LAC、ラック、JSOC、サイバー救急センターは株式会社ラックの登録商標です。その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。